



安全のために必ずお守りください。

警告

“メンテナンスの頻度は、ライディングの状況により異なります。チェーンを適切なチェーンクリーナーで定期的に洗浄してください。錆び落とし等のアルカリ性、あるいは酸性の洗浄液は決して使用しないでください。これらを使用するとチェーンが破損し、重傷を負う恐れがあります。”

- ナロータイプチェーンは必ずアンブルタイプ・コネクティングピンで連結してください。
- 2種類のアンブルタイプ・コネクティングピンがありますので、ご使用前に必ず下記の表でご確認ください。アンブルタイプ・コネクティングピン以外のコネクティングピンやチェーンに適合していないアンブルタイプ・コネクティングピンおよび工具を使用されますと十分な連結力が得られずチェーン切れやチェーン飛びを起こす場合があります。

チェーン	アンブルタイプコネクティングピン	工具
CN-7701 / CN-HG93 の横な9段対応 スーパーナローチェーン	 シルバー	TL-CN32 / TL-CN27
CN-HG50 / CN-HG40 の横な8、7、6段対応 ナローチェーン	 ブラック	TL-CN32 / TL-CN27

- スプロケット構成の変更などでチェーンの長さを再調整する必要がある場合は、アンブルタイプ・コネクティングピンおよびエンドピンで連結されていない箇所を切断してください。アンブルタイプ・コネクティングピンやエンドピンで連結された箇所を切るとチェーンを損傷します。

- チェーンの伸び具合や損傷がないかどうか点検してください。

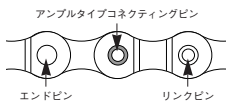
- 伸びたり損傷がある場合には交換してください。チェーンが切れて転倒することがあります。

- 乗車前に車輪が固定されていることを確認してください。転倒して大怪我をすることがあります。

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。その際、シマノ純正部品の使用をお勧めします。またボルトやナット等が緩んだり、破損しますと突然に転倒して重傷を負う場合があります。

- 製品を取付ける際は、必ず取扱説明書等に示している指示を守ってください。調整が正しくない場合、チェーン外れ等の発生により、突然に転倒して重傷を負う場合があります。

- 取扱説明書はよくお読みになった後、大切に保管してください。



アンブルタイプコネクティングピン

エンドピン

リンクピン

使用上の注意

- UGチェーンにはアンブルタイプ・コネクティングピンは使用になれません。連結部の動きが悪く、又きしみ音が発生します。

- 変速操作がスムーズに出来なくなった場合には変速機を洗浄し、可動部に注油してください。

- リング部のがたが大きくなって変速調整が出来なくなった場合には変速機を交換してください。

- 定期的に変速機を洗浄し可動部（メカニズム部及びプリー部）に注油してください。

- 変速調整が出来ない場合には、車体の後ろのエンドの平行度の確認、ケーブルの洗浄及びグリスアップとアウターケーブルが長すぎたり短すぎたりしていないかを確認してください。

- プリーのがたが大きくなって、走行時、非常に雑音がうるさくなった場合は、プリーを交換してください。

- 車輪の回転が重たくなった場合はグリスアップを行ってください。

- ハブの内部には注油は行わないでください。グリスが流れ出します。

- ギアは定期的中性洗剤で洗浄し注油してください。また、チェーンの中性洗剤での洗浄及び注油も、ギア及びチェーンの寿命を延ばすのに効果があります。

- チェーン飛びが発生するようになった場合はギアとチェーンを交換してください。

- アウターケーブルはハンドルを一杯に操舵しても余裕がある長さのものをご使用ください。また、ハンドルを一杯に操舵した時に変速レバーがフレームに接触しないことを合わせて確認してください。

- インナーケーブルとアウターケーブルの摺動部分がグリス潤滑された状態で使用してください。

- インナーケーブル内蔵フレームは、ワイヤー効率が悪くSISが働きにくいいため、ご使用できません。

- 変速に関係するすべてのレバー操作は、必ずフロントチェーンホイールを回しながら行ってください。

- 円滑な操作のため、指定ケーブル及びB.B.ガイドをご使用ください。

- チェーンは、より良い機能が発揮されるために指定チェーンを使用してください。

ワイドタイプチェーンは使用できません。

- 通常の使用において自然に生じた摩擦および品質の劣化は保証いたしません。

- 取扱方法及びメンテナンスについて疑問のある方は、購入された販売店にご相談ください。

ご使用方法

SI-6NGRA-004

リアドライブシステム

SHIMANO
Tourney

機能を十分に発揮させるために、次のラインナップによる使用を推奨いたします。

シリーズ	Tourney (MEGARANGE)		Tourney (SIS)	
	7段	6段	7段	6段
スピード	7段	6段	7段	6段
シフティングレバー	右			
アウターケーブル	SIS		SIS	
リアディレイラー	RD-TX71/ RD-TX51/ RD-TX31	RD-TX71/ RD-TX51/ RD-TX31	RD-TX71/ RD-TX51/ RD-TX31	RD-TX71/RD-TX51/ RD-TX31/RD-TZ50/ RD-TY18
マルチプルフリーホイール	MF-TZ31/ MF-TZ31-CP	MF-TZ30/ MF-TZ30-CP	MF-HG37/MF-TZ07/ MF-TZ21/MF-TZ21-CP	MF-TZ06/MF-TZ20/ MF-TZ20-CP
チェーン	CN-UG51		CN-UG51	
B.B.ガイド	SM-SP18/SM-BT18		SM-SP18/SM-BT18	

この取扱説明書は、ご購入された自転車に装着されているシマノ製自転車部品の取扱方法を説明しています。ご購入された自転車およびシマノ製自転車部品以外に関するご質問はご購入先または自転車製造元へのお問い合わせをお勧めいたします。

* 取扱説明書は下記にご覧いただけます。

<http://techdocs.shimano.com>

製品改良のため、仕様の一部を予告なく変更することがあります。

お客様相談窓口

☎ 0570-031961 Fax. 072-243-7847

株式会社シマノ

堺市南区松島町3丁目77番地 〒590-8577

仕様

シフティングレバー

モデルナンバー	SL-RS35-7	SL-RS35-6
スピード	SIS7段	SIS6段

リアディレイラー

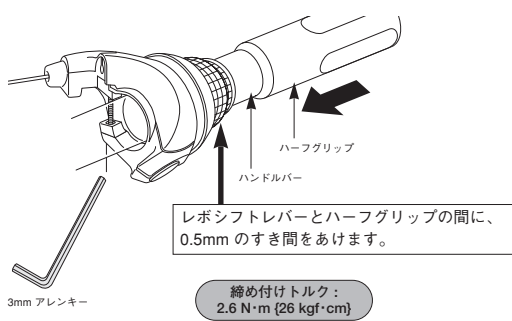
モデルナンバー	RD-TX71	RD-TX51	RD-TX31	RD-TZ50	RD-TY18
タイプ	スマートケージ	スマートケージ	スマートケージ	GS	GS SS
スピード	7/6	7/6	7/6	6	6
トータルキャパシティー	43T	43T	43T	34T	34T 28T
リア最大ギア	28-34T	28-34T	28-34T	28T	28T
リア最小ギア	11T	11T	11T	14T	14T
フロント歯数差	20T	20T	20T	20T	20T 13T

スプロケット歯数構成

スピード	7	6
歯数構成	14、16、18、20、22、24、34T 14、16、18、20、22、24、28T	14、16、18、21、24、34T 14、16、18、21、24、28T

シフティングレバーの取付け

ブレーキ操作に支障をきたさない位置に取付けてください。
ブレーキ操作に支障をきたす場合は組合せ使用しないでください。



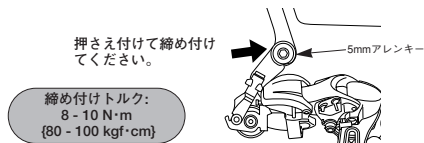
レボシフトレバーとハーフグリップの間に、0.5mmのすき間をあけます。

3mm アレンキー

締め付けトルク：
2.6 N·m (26 kgf·cm)

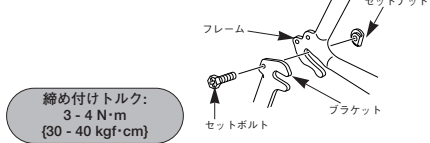
リアディレイラーの取付け

● 直付タイプ



締め付けトルク：
8 - 10 N·m
{80 - 100 kgf·cm}

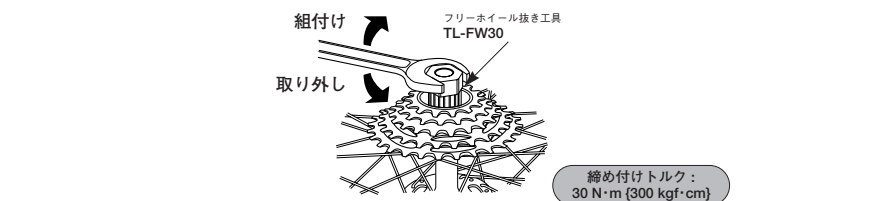
● ブラケットタイプ



締め付けトルク：
3 - 4 N·m
{30 - 40 kgf·cm}

RD-TZ50-GSは20インチ以下の小径車には使用しないでください。
リアディレイラーが車輪や路面と接触する恐れがあります。

フリーホイールの取付け

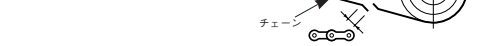


締め付けトルク：
30 N·m (300 kgf·cm)

チェーンの長さ

< GS、スマートケージ >

フロント、リア共に最大ギアにチェーンをかけた状態で2リンク加えてください。



< SS >

ガイドプリー、チェーン、テンションプリー、地面と垂直



ケーブルの固定とストローク調整

< RD-TX71 / RD-TX51 >

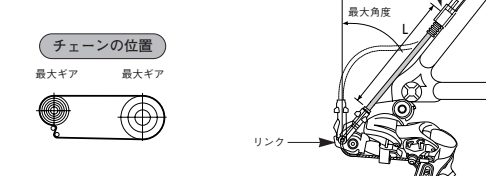
アウターケーブルが荷台、泥よけのステーにあたらないようにしてください。変速機能に支障をきたす場合があります。

RD-TX71/RD-TX51のアウターケーブルの長さは下記のようにセットしてください。

● 上廻しの場合

(チェーンの位置はフロント、リア共に最大ギア)

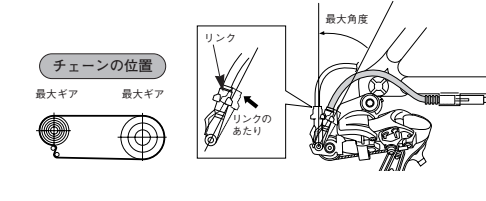
図の様にアウターケーブルをアウター受けとリンクに差し込んだ寸法に10mm加えてください。



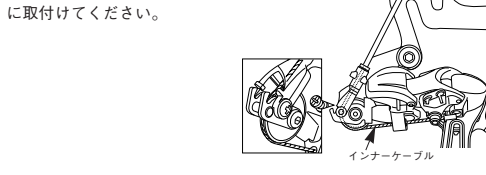
● 下廻しの場合

(チェーンの位置はフロント、リア共に最大ギア)

アウターケーブルの長さは、アウターケーブルがスムーズなアールになるように、リンクがリンクの“あたり”からすこしはなれるような位置に設定してください。

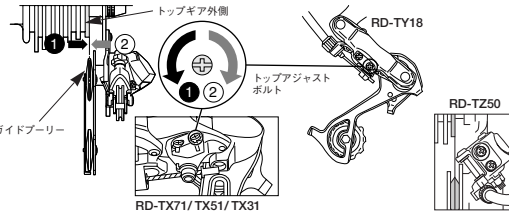


図のようにインナーケーブルを変速機に取付けてください。



1. トップ側の調整

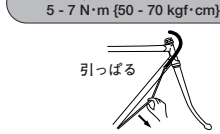
後方から見て、ガイドプリーがトップギアの外側の線の上になるようにトップアジャストボルトを回して調整してください。この後チェーンを取付けます。



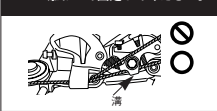
2. インナーケーブルの取付けと固定

インナーケーブルをリアディレイラーに固定し、図のように初期の伸びを取った後、再びリアディレイラーに固定しなおします。インナーケーブルはプライヤーで5 - 10kgの力で引っ張って固定してください。

締め付けトルク：
5 - 7 N·m (50 - 70 kgf·cm)

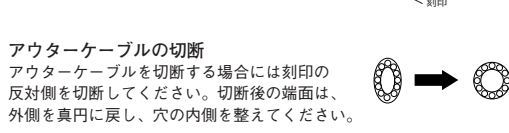


注意：インナーケーブルは必ず濡らして締めてください。



インナーケーブルの通し方向

アウターケーブルの刻印側からインナーケーブルを通してください。ケーブル効率維持のため、刻印側にグリスが封入されています。



アウターケーブルの切断

アウターケーブルを切断する場合には刻印の反対側を切断してください。切断後の端面は、外側を真円に戻し、穴の内側を整えてください。

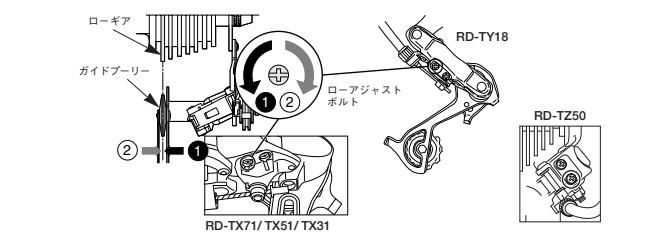
アウターケーブルキャップは、

切断後も同一物を使用してください。



3. ロー側の調整

フロントチェーンホイールを回しながらレバーを操作してローギアに変速させます。ガイドプリーがローギアの真下にくるように、ローアジャストボルトを回して調整してください。



4. Bテンションアジャストボルトの調整

< RD-TX71 / RD-TX51 / RD-TX31 >

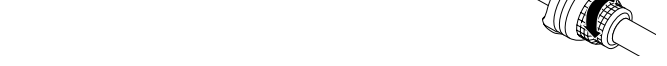
チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットし、クランクを逆に回します。チェーンつまりしない位置までガイドプリーがギアに近づくようにBテンションアジャストボルトを回して調整します。次にフリーホイールを最小ギアにセットして同様に、チェーンテンションがとれていることを確認してください。

< RD-TZ50 >

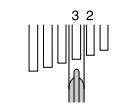
適切な変速性能を維持するため、チェーンをチェーンホイールの最小ギア、フリーホイールの最大ギアにセットし、目安として、フリーホイールの刃先からガイドプリー刃先までの距離が10mmとなるようBテンションアジャストボルトを回して調整します。次にフリーホイールの最小ギアにセットしてチェーンテンションがとれていることを確認してください。

SISの調整

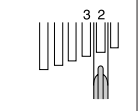
シフティングレバーを1回操作して、リアギアを2段目に変速させます。その後、レバーの遊び分だけ操作した状態で、クランクを回転させます。



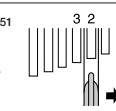
サード(3段目)に変速する場合



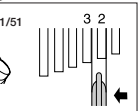
全く音鳴りがしない場合



調整ボルト



調整ボルト



チェーンがセカンドに戻るまで調整ボルトをしめる。(時計方向)

サードギアに接触し音鳴りがするまでボルトを緩める。(反時計方向)

ベストセッティング

シフティングレバーをレバーの遊び分だけ操作した状態でチェーンがサードギアに接触し、音鳴りする状態がベストセッティングです。
* レバーをもとの位置に戻し(レバーはセカンドの位置でレバーから指を離れた状態)、クランクを回転させてください。サードギアと接触し、音鳴りが残っている場合は調整ボルトを少し締めて(時計方向)、音鳴りのしないぎりぎりのポイントで止めるようにしてください。

レバーを操作して変速し各段で音鳴りがないことを確認してください。

SISの機能を十分に持続させるために伝達各部にオイルメンテナンスを行ってください。

インナーケーブルの交換方法

1. シフターを操作してギアをトップの位置に合わせます。ドライバーなどでAの部分を押してカバーを外します。

2. 図のように①～③の手順でインナーケーブルを交換してください。

